

研究課題名	MCI および初期 AD 患者の包括的評価と予後予測： 心理検査・画像診断・アンケートを用いた多面的アプローチ
研究の意義・目的	<p>軽度認知障害(MCI) および初期のアルツハイマー型認知症は、認知症の初期段階として重要な時期です。早めに評価して適切に対応することで、認知症への進行を遅らせる可能性があります。</p> <p>この研究は、認知症の進行を高精度に予測することを目的として、患者さん本人やご家族から見た患者さん本人の物忘れの症状をアンケートで答えていただき、通常の診療で得られる情報（心理検査や MRI や PET、SPECT といった画像検査など）を組み合わせることで総合的に分析します。これにより、従来の方法ではわからない小さな変化やリスク要因を見つけられる可能性があります。</p> <p>特に、MRI 画像を活用することで脳の細かい構造を分析することができ、治療薬による効果を客観的に評価したり、認知機能の低下を早期検出できる可能性があります。</p> <p>さらに、ご家族の評価を診断に活用することで、ご家族を包括的に支援する新しい診療モデルの確立が期待されます。</p>
研究を行う期間	機関の長の実施許可日 ~ 2028 年 3 月
研究協力をお願いしたい方 (対象者)	2024 年 1 月~研究機関の長の実施許可日(2025 年×月×日)までに大阪公立大学医学部附属病院の脳神経内科へ、物忘れのため受診された方が対象となります。
協力をお願いしたい 内容と研究に使わせて いただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報：年齢、性別、診断名、病歴、治療薬履歴 画像検査結果：MRI, PET 検査（アミロイド PET、FDG-PET）、SPECT 心理検査結果：MMSE, HDS-R, FAB, RBMT, GDS
試料・情報を 利用する者の範囲 および管理について 責任を有する者の 研究機関の名称	この研究は、公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院医学研究科脳神経内科学のみで行います。 【研究責任者】武田景敏
個人情報の取り扱い	この研究にご参加いただいた場合、あなたから提供された診療情報などのこの研究に関するデータは、すぐには個人を特定できない形式に記号化した番号により管理されます。 この研究から得られた結果が、学会や医学雑誌などで公表されることはあります。このような場合にも、あなたのお名前など個人情報に関することは含まない形で公表されます。
本研究の 利益相反	本研究の利害関係については、各研究機関で定められた利益相反マネジメントの規定等に従って必要に応じて各研究機関の利益相反マネジメント委員会へ報告を行うことにより、利益相反を管理し研究を遂行します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。

研究に協力を したくない場合	診療情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも不利益を受けることはありません。
連絡先	大阪公立大学医学部附属病院 脳神経内科 担当者氏名：武田景敏 電話番号：(06) 6645-3889